

山梨のすぐれものを 上海でPR



上海市内の人気ショッピングストリートで開催した「富士の国やまなし」観光フェアでありさつをする横内知事

横内知事は、8月5日から7日まで、中国・上海市を訪れ、観光客誘致や県産品の輸出拡大に向けたトップセールスを行いました。中国は、高い経済成長や7月1日からの訪日個人観光ビザの規制緩和などによって、観光客の大幅な伸びが期待されています。

特に、上海市はアジアを代表する国際都市であり、7,000万人の入場者が見込まれる上海万博開催期間中(5月1日～10月31日)は、富士山をはじめとした観光資源のPRやワイン・果実などの県産品の輸出拡大を図るまたとない機会です。

今回、横内知事は、「富士の国やまなし」観光フェア、上海メディアを集めての記者会見、「やまなしサポーターズ倶楽部in上海」の設立などにより、観光資源や県産品など山梨県の魅力をPRしました。

友好県省締結25周年を 迎えた中国・四川省と山梨県



「山梨四川友好の森」記念碑除幕式

山梨県と四川省は、ともに内陸部に位置し中央に盆地があることや、絹、漆に代表される伝統工芸品など、数々の類似点をもって、いることがきっかけで、1985年に友好県省を締結しました。以来、幅広い分野で交流を重ねてきました。また、四川省に甚大な被害をもたらした2008年5月の「四川大地震」の際には、山梨県から義援金を送るなど、震災からの復興を支援する活動を進めてきました。

こうした中、被災者のためのニュータウン整備が進む四川省都江堰市内では、友好県省締結25周年を機に、山梨県民などの寄付により、四川省の人々の心を癒す桜の公園「山梨四川友好の森」の整備を開始。8月4日には、記念植樹式が行われ、横内知事をはじめ、寄付をした県民の方々を交えて、300本の桜を植えました。

やまなしサポーターズ倶楽部in上海



山梨県への誘客と県産品の輸出拡大に向けた支援組織「やまなしサポーターズ倶楽部in上海」の発足式と交流会を行いました。

上海メディア記者会見



横内知事は会見で、観光資源や県産品をPRしました。また、中国観光親善大使のハロキティも登場し、会場を盛り上げてくれました。



県の訪問団は、地元の小学生らとともに300本の桜を植樹



山梨県四川省友好県省締結25周年記念式典



友好県省締結25周年のあゆみを紹介したパネル展を開催

ここから下の段は広告です。広告の内容について詳しくは、広告主にお問い合わせください。



ここから下の段は広告です。広告の内容について詳しくは、広告主にお問い合わせください。

